

## 不適合情報

2024年1月15日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。  
なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

[https://www.tepco.co.jp/niigata\\_hq/data/inside/pdf/image1.pdf](https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf)

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 6件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	500kV開閉所排水設備(南側)故障の警報が発生/クリアを繰り返していることを確認した。調査の結果、排水ポンプ(CP-2)のポンプ不具合による排水不良、ポンプ起動/停止用スイッチの動作不良、逆止弁の動作不良が原因と推定。当該事象の原因を調査し、排水ポンプ、逆止弁を点検・修理。	2024/01/01	
2	1号機	原子炉補機冷却中間ループ系熱交換器(A)の水抜きにおいて、貝殻除去装置ブロー切替後弁にシートパスを確認した。当該弁を点検・修理。	2024/01/09	
3	3号機	制御棒駆動機構ポンプ(B)油分離器に腐食を確認した。当該分離器を点検・修理。	2024/01/08	
4	6号機	取水路角落し収納ピット(屋外)排水ポンプ制御盤に過負荷/高水位を示すランプの点灯を確認した。調査の結果、排水ポンプが運転中にもかかわらず吐出配管から排水されていないことが判明。排水ポンプの運転を停止。水位検出スイッチおよび排水ポンプを点検・修理。	2024/01/01	
5	6号機	残留熱除去系(B)経由外部注水入口弁が、エリア放射線モニタ(GH. 14)検出器の測定視野に一部干渉していることを確認した。入口弁または放射線モニタの移設について検討し改修工事を実施。なお、測定エリアに複数のモニタを設置していることおよびプラント停止中で放射線量が上昇する可能性が低いことから、監視に影響なし。	2024/01/05	
6	7号機	プラント計測機器点検において、炉水フィルタサンプル流量計の指示値が管理値を逸脱していることを確認した。当該流量計を交換。	2024/01/07	